

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆コンビニ売上高、24年も最高更新 訪日客増や販促寄与

・日本フランチャイズチェーン協会が20日発表した2024年のコンビニエンスストアの既存店売上高は、前年比1.1%増の11兆3364億円。前年実績を上回るのは4年連続で、過去最高を更新。インバウンド客の増加が追い風となったほか全国的に暖かい日が多く、行楽需要が高まった影響でおにぎりやソフトドリンクの販売も伸長。

◆バイト時給2.9%高の1219円 24年12月、飲食店最高続く

・リクルートが発表した2024年12月のアルバイト・パート募集時平均時給は、三大都市圏(首都圏、東海、関西)で前年同月比34円(2.9%)高い1219円だった。訪日外国人客の増加を背景に飲食店などで求人が活発。人手不足が解消せず賃上げの機運が続いていることから、25年もなお時給の上昇が続くそう。

◆鳥インフル猛威、1月は23例で最多に 農相「異常事態」

・農林水産省は高病原性鳥インフルエンザの感染拡大を防ぐため、自治体の担当者らと緊急会合を開いた。1月だけの発生件数をみると19日時点で23例となり、シーズンを通して最多だった2022年度の19例を上回った。江藤拓農相は「異常な事態。食卓への影響が懸念される」と危機感を示した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ノーリツに英ファンドが株主提案 自社株買いなど求める

・給湯器大手のノーリツは英投資ファンドのニッポン・アクティブ・バリュー・ファンド(NAVF)から3月27日に開く株主総会に向けた株主提案を受け取ったと発表。自社株買いや取締役への譲渡制限付き株式報酬制度の充実などを求め、資本効率の向上や市場目線の経営を促した。提案を受けてノーリツ株は一時前日比9%高まで急伸。

◆機械受注8カ月ぶり上方修正、脱炭素・AI投資下支え

・国内の設備投資に上向く兆しがみられる。内閣府は20日、機械受注の基調判断を8カ月ぶりに上方修正。脱炭素関連の設備投資に加え、増設が続くデータセンター関連の受注も底堅い。20日に発足するトランプ政権の関税政策などが企業の設備投資意欲に与える影響が今後の焦点となる。

◆「住宅省エネ2024キャンペーン」全事業で予算上限到達なく終了

・国土交通省・経済産業省・環境省の3省連携で行う「住宅省エネ2024キャンペーン」の交付申請の受付が終了。終了時点の予算に対する補助金申請額の割合は、「子育てエコホーム支援事業」の新築が90%、リフォームが98%、「先進的窓リノベ2024事業」が73%、「給湯省エネ2024事業」が97%だった。

《 注目商品 》

■パナソニック 温水洗浄便座「ビューティ・トワレ」RTシリーズ

・一人ひとりの求める洗浄感にフィットする3つの洗浄モードを搭載した瞬間式の温水洗浄便座「ビューティ・トワレ」RTシリーズを発売。洗い心地にこだわった「ソフト」「バブル」「パワービート」の3種の洗浄モードを搭載。新たなノズル構造を開発(特許出願中)。



■YKK AP、高断熱玄関ドアを刷新 「イノベスト D50」

・高断熱玄関ドア「イノベスト D50」に11デザインを追加し全23種類へ拡充。カラーは全13色の内9色を刷新。グレイ系カラーを5色拡充し、木調色を現在の住宅に調和する彩度を抑えた色調へ変更。新仕様「イノベスト D50 Basic」も新たに追加。



■アイカ工業、ReCoRi(リコリ) リサイクル率20%を実現

・人工大理石のトップブランド「コーリアン®」に新シリーズ「ReCoRi(リコリ)」を追加。製造工程で発生し、従来は廃棄されていた端材などを原材料の一部として利用。リサイクル率とCO2排出量削減率は20%を実現。ホワイト、アイボリー、ベージュ、グレーの4色展開。

